

## ！ ここがポイント

文化財である土蔵造りの酒蔵観光と体験酒造りを結びつけ、商品の直販を目指す。



370年以上の歴史の継承

過去を遡ること370有余年の歴史を誇る老舗の造り酒屋で、昭和41年に株式会社化を行ったところであるが、昨今の酒に対する消費者の嗜好の多様化による経営圧迫は他人事ではない状況であった。

焼酎人気等による清酒需要減少の中で、金沢に23軒あった酒造元も現在では3軒となり、ほとんどが酒造業から撤退を余儀なくされている。

このような中、歴史を継承し、伝統の味を守るために、杜氏の処遇を改善する必要が生じていた。冬のみ働きに来る杜氏は、酒造りの中心的存在であるが、高齢により引退をされた場合、社内に技術が残らなくなるため、酒造元としては大きな問題であった。このため、杜氏と麹責任者を社員として迎え、技術の伝承を行うことが重要と位置づけた。ところが、固定費が経営を圧迫する状態が発生し、解決策を検討する必要が生じた。



観光都市ならではの斬新な企画立案

国税庁が行った経営革新支援法の説明会に出席し、かねてから描いていた経営プランが活用できると確信し、経営革新法の承認を受けることを決意した。

この経営革新計画は、観光都市である金沢の文化財である土蔵造りの酒蔵を観る（蔵の観光化）だけではなく、「観光酒造」を行うことである。

「観光酒造」とは、観光として酒蔵を見学した後、酒造りの体験をするものである。搾りから始まり、米洗いを経て仕込みまでを自らがを行い、約3週間後に醸造された酒が自宅に宅配されるのである。

計画作成にあたっては、石川県産業創出支援機構主催の「ビジネスプラン作成講座」を受講し、ビジネスプランの作成に取り組んだ。

醸造体験による観光化が計画の中心であるが、この計画を通して、現在5%程度である当社への「ミニオーダーメイド（通販）」等の消費

者との直接取引を15%に増やすことにより粗利を押し上げること、また、知名度の向上により愛好者が増えて、全体売上に反映することが最終的な目標である。

補助金を効果的に活用し販路開拓

設備投資の他に国際食料飲料展の出展に際し補助金を活用することにより、効果的な事業の周知が図られ、また、国民生活金融公庫からの低利融資により、観光ルートに関わる施設の改築等を行い、余裕を持った事業運営が可能となった。

行政とのタイアップ

酒造体験の蔵について、TV等のメディアや旅行会社からも取り上げられ、また金沢市の観光案内地図に掲載される等販売促進に大きな力となった。

また、当社の土蔵造りの酒蔵は平成15年に文化庁登録有形文化財に指定され、見学に訪れる観光客も増加している。

## やちや酒造株式会社

業種 : 清酒製造業

本社所在地 : 金沢市大樋町

資本金 : 45,000千円

創業 : 寛永5年(1628年)

従業員数 : 12名

